

すずめのみや

雀宮地域ビジョン

歴史を感じ そして自然を感じて

豊かに安心して暮らせるまち雀宮



開発が進む雀宮駅東地区

雀宮地域ビジョン策定委員会

平成26年2月

～目次～

	頁
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 地域ビジョンとは・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2. なぜ地域ビジョンが必要なのでしょうか・・・・・・・・	2
3. 雀宮はこんなまち・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1) 雀宮のあゆみ・年表・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2) 雀宮の位置、面積及び人口・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3) 雀宮地区のデータ・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4) 雀宮地区の産業・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5) 雀宮地区の歴史と文化・・・・・・・・・・・・・・・・	10
6) 雀宮宿を訪ねて・・・・・・・・・・・・・・・・	13
4. アンケート等の実施と雀宮地区の魅力や課題について・・・・・・・・	15
5. まちづくりの基本方針と取組方針・・・・・・・・	18
1) まちづくりのテーマと基本方針・・・・・・・・	18
2) 基本方針と取組方針・・・・・・・・・・・・・・・・	19
3) 基本方針1 安心して安全に暮らせるまち・・・・・・・・	19
4) 基本方針2 人と人のつながりを感じて暮らせるまち・・・・・・・・	21
5) 基本方針3 便利に暮らせるまち・・・・・・・・	22
6) 基本方針4 身近な歴史・文化や景観を伝えるまち・・・・・・・・	24
7) 基本方針5 学ぶことを大切にするまち・・・・・・・・	25
8) 基本方針6 農とふれあうまち・・・・・・・・	26
6. 地域ビジョン達成に向けて・・・・・・・・	27
1) 地域ビジョン計画スケジュール・・・・・・・・	28
2) みんなで育てよう5つの宝・・・・・・・・	29
《参考資料》	
資料1 地域ビジョン策定委員会委員名簿・・・・・・・・	32
資料2 地域ビジョン策定の経過・・・・・・・・	33



はじめに

～雀宮地域ビジョンの策定にあたって～

雀宮地区自治会連合会が結成されてから36年が経過し、また、雀宮地区まちづくり推進協議会が結成されてから10年が経過しました。

これまで私たちは、住民相互の連帯を深め、住民の創意工夫と責任のもと、住みよい雀宮地域を形成して行くことを目的に地域活動を行って参りました。

しかし、近年、どこの地域でも著しい少子・高齢化の進展により、人口の減少局面を迎えようとしています。私たちの地域も例外ではなく、生活に関する相互扶助（冠婚葬祭、福祉、教育、防災等）の仕組みや伝統文化等の維持（工芸、祭、遺跡等）そして、地域全体の課題に対する意見調整（まちづくり、地域活動、防災等）のような地域コミュニティ活動は衰退の方向に向かい、今後、地域コミュニティの機能も失われていくことが懸念されております。

宇都宮市では、上記のような時代の潮流をとらえ、次代に引き継ぐ宇都宮市を住民とともに築いていく指針として「宇都宮市自治基本条例」や「宇都宮市第5次総合計画」が策定されました。

その中では、地域創造活動を推進していくため、住民一人ひとりをまちづくりの主人公と位置付け、積極的な参加とその機会を提供し、将来を見据えたまちづくりを進めるため、地域住民が自らの地域の将来像をまとめる「地域計画(地域ビジョン)の策定」に参画していくこととしています。

私たちは、様々な地域の問題を克服して、すばらしい自然、そして長い歴史の中で培われてきた豊かな人情と深い絆を糧に“健康で楽しく、生きがいを実感できる地域”をつくり、子孫に引き継いで行くことが今を生きる私たちの責務であると考え、自分たちが誇りに思う地域の姿やこの地域の将来像を地域の策定委員会でまとめ、この「雀宮地域ビジョン」を作成しました。

このビジョンは、雀宮地区の総合的な発展と振興を目指して策定するものであり、市の総合計画との関連により、地域と行政が一体となってそれぞれの役割を担い、雀宮地区のまちづくりを進めていくこととなります。

また、このビジョンは雀宮地域の活動の基本となるものです。計画実現のためには、地域の皆さん一人ひとりのご支援、ご協力が必要です。次代に引き継ぐ雀宮地域を発展させていくため、皆さんとともに頑張っていきましょう。

平成26年2月

雀宮地域ビジョン策定委員会 委員長 宇賀神 源泉



1 地域ビジョンとは

「今より住みやすい雀宮になってほしい。」これは多くの地域の皆さんの願いです。「こんな雀宮になったらいいな～」「このような雀宮をめざそう！」そうした地域の皆さんの意見を集め、それらの意見を参考に、地域のシンボル、まちづくりのキーワード、まちづくりの基本理念を整理したうえで10年後の目指すべき地域の将来像として整理します。これを雀宮地域の“将来構想”と呼びます。

そして、この将来構想を実現するためにいくつかの目標を掲げます。そしてこれから10年間、この目標を達成するために、どういったことに取り組んだら良いのか、雀宮として取り組むべき重点事業や、計画内容についても明らかにしていくこととし、これを“基本計画”と呼びます。前者の将来構想と、後者の基本計画をあわせて、『雀宮地域ビジョン』と呼ぶこととします。



2 なぜ地域ビジョンが必要なのでしょうか

どうして将来構想・計画が雀宮地域には必要なのでしょう。もし雀宮地域に将来の方向性を示した将来構想・計画がなければ、めざすべき将来像が地域の皆さん一人ひとりで異なり、各自が理想とする意見を述べたのでは、その方向は一致せず、まちづくりは円滑に進まない事態が出てきます。そうなれば地域のリーダーは大変です。また地域の代表者や役員が交代するごとに、進むべき方向、計画内容、やり方がそれぞれ変わっては、地域の皆さんも困惑します。

こうした事態が起こらないように、今を生きる私たち大人が、子どもや孫達が「雀宮地域に住んで良かった」と実感できるように、地域の将来構想・基本計画(地域ビジョン)を策定することとしました。



3 雀宮はこなまち

3-1 雀宮のあゆみ

雀宮は、宇都宮市の南部に位置し、国道4号線(昔の日光街道)沿いに古くから宇都宮市の南の玄関口として栄えた宿場町です。当地区は牛塚^{うしづか}など多くの古墳が点在し、古より開かれた地域であったことが推察できます。江戸時代には、参勤交代、日光東照宮造営などにより、日光街道が整備され「雀宮宿」が形成され賑わいを見せました。

明治に入り、18年東北本線が開通すると街道の往来は減少し、商売は廃れ、宿場も村も著しく衰退し、寒村のままの状態が続いていました。

明治22年の市町村制施行により「雀宮村」となり、その後昭和28年に町制が施行され「雀宮町」となり、同30年に町村合併により宇都宮市に合併して現在に至っています。

また、昭和18年に関東工業などの軍需工業が進出し、住宅街が形成され開発が進み活気を取り戻しましたが、敗戦とともに工場が閉鎖され活気をなくし停滞してしまいました。その後、村を挙げての誘致運動を重ねた結果、同24年に警察予備隊(自衛隊)が駐屯し、これが導火線となり活気を取り戻し、その後基地とともに順調に歩んできました。

同51年、県立宇都宮南高等学校が開校し生徒が銀輪をきらめかせながら通学する姿は、田園地帯の雀宮駅東地区の将来に一条の光明を見せることになりました。

平成に入り、市内で最初の地区市民センターとして雀宮地区市民センターが建設されました。

同17年に合併前まで歌い継がれてきた「雀宮音頭」の歌詞が見つかり、合併の後、忘れ去られ伝える人もいなくなっていました。まちづくり協議会が地区の活性化にと一丸となって取り組み、* 聴音採譜^{ちようおんさいふ}し曲を完成させ発表会を開催、その後、盆踊りや体育祭、文化祭で披露され、歌い継がれており、これは市民協働のまちづくりのひとつの成果であると考えます。

また、宇都宮インターパーク南に大規模商業施設が開設し、同18年には雀宮駅東地区に、(仮称)科学技術校の移転と(仮称)第3図書館建設が決定しました。

そして、同19年には、東谷、中島、砂田地区がインターパーク1~6丁目に町名変更され同1~2丁目が横川地区、同3丁目以降が雀宮地区の管轄となり、

同 22 年 3 月には、「まちのシンボル」となる J R 雀宮新駅舎が完成し、雀宮駅東西自由通路も開通し、雀宮地区東西の交流が可能となり利便性が一段と高まることになりました。

また、同 23 年には雀宮駅東地区に「県立宇都宮工業高等学校」「市立南図書館」が開設され、雀宮の新しい顔となっています。

*聴音採譜（音を聞き取り、聞き分けて、民謡・歌謡などを楽譜に書き取ること）



**J R
雀宮駅**

**宇都宮市立
南図書館**



**栃木県立
宇都宮工業高等学校**

○年表

年 度	で き ご と
明治 6年	・「日新舎」開校（現在の雀宮中央小学校） ・雀宮東小学校が「感応寺」に開校
22年	市町村制施行、河内郡雀宮村誕生 （雀宮、針ヶ谷、上御田、下反町、中島、羽牛田、東谷、茂原、御田長島、下横田の10大字がまとまる）
28年	雀宮駅が設置される
昭和18年	関東工業進出
19年	雀宮南駅開設（廃止時は不明）
20年	関東工業閉鎖
21年	関東病院設立（現在の社会保険病院）
22年	「雀宮村立雀宮中学校」開校（現在の雀宮中学校）
24年	警察予備隊移駐（⇒保安隊⇒自衛隊へと発展）
27年	「雀宮村立南小学校」開校（現在の雀宮南小学校）
28年	町制が施行され「雀宮町」となる 雀宮公民館開館
30年	宇都宮市に合併
51年	栃木県立宇都宮南高等学校開校
53年	宇都宮市立五代小学校開校
57年	宇都宮市立若松原中学校開校
59年	宇都宮市立新田小学校開校
	雀宮地区学習等供用施設開設
	「宇都宮テクノポリス開発計画：東谷・中島地区」承認される
平成 元年	雀宮地区市民センター落成
8年	雀宮地区シンボルマーク制定
17年	・上神主・茂原官衙遺跡が国指定史跡となる ・インターパーク南の商業施設開設 ・雀宮音頭復活 ・雀宮地区市民センター支所化
18年	（仮称）科学技術校移転、（仮称）第3図書館の建設決定
19年	・（仮称）科学技術校、（仮称）第3図書館の建設用地買収 ・県及び市主催による駅周辺道路整備計画の地元説明会を開催 ・国道4号整備に関する要望書の提出（財務省・国土交通省）
20年	・宇都宮社会保険病院の存続の要望（厚生労働省）
22年	JR雀宮駅新駅舎が完成
23年	・宇都宮市立南図書館の開館 ・栃木県立宇都宮工業高等学校新校が移転

3-2 雀宮の位置、面積及び人口

雀宮地区は国道4号線に沿った中央部、これは宇都宮台地の一部であり、小起伏の段丘面からなり、西に広がり畑地が多い地区と、東部の田川低地及び西部の姿川低地は、肥沃な水田地帯となっており、市の中心部から南に約10kmに位置し、約18km²の面積です。

地形は、南北約4.5km、東西約5.7kmと方形であり東は上三川町、西は壬生町、南は下野市に接し、人口は約4万人、世帯は約1万6千戸、1世帯あたり2.5人となっており、1平方キロメートル当たり2,282人の人口密度の高い地域となっています。

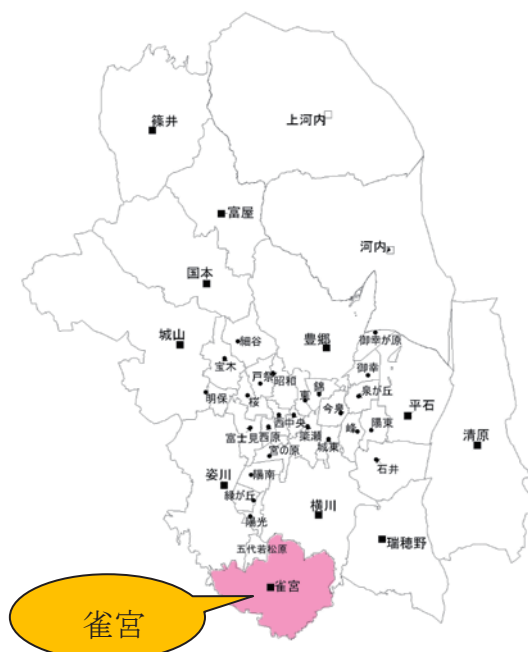
農業は、地区の西部は果樹や園芸などの畑作が中心となっており、梨やいまはもう余り見られませんが、かんぴょう、落花生などが特産品となっており、東部は田川流域の稲作が中心ですが、イチゴや野菜なども栽培しています。

中央部は自衛隊の基地を抱えた住宅地で、地区住民の生活、活動の中核域となっています。

地区の幹線は南北に旧国道4号線、東西に宇都宮環状線と北関東自動車道と主要な道路が走り、鉄道も新幹線とJR宇都宮線が走り交通の要衝となっています。

近年、交通の便を活かし、東南部地区の宇都宮インターパーク南に新たに1千2百戸、計画人口約4千人の新住宅地が形成されつつあり発展を続けています。

○ 位置図(宇都宮市行政区)



マスコットキャラクター
ちゅん太とちゅん子

3-3 雀宮地区のデータ

(1) 雀宮地区のデータ

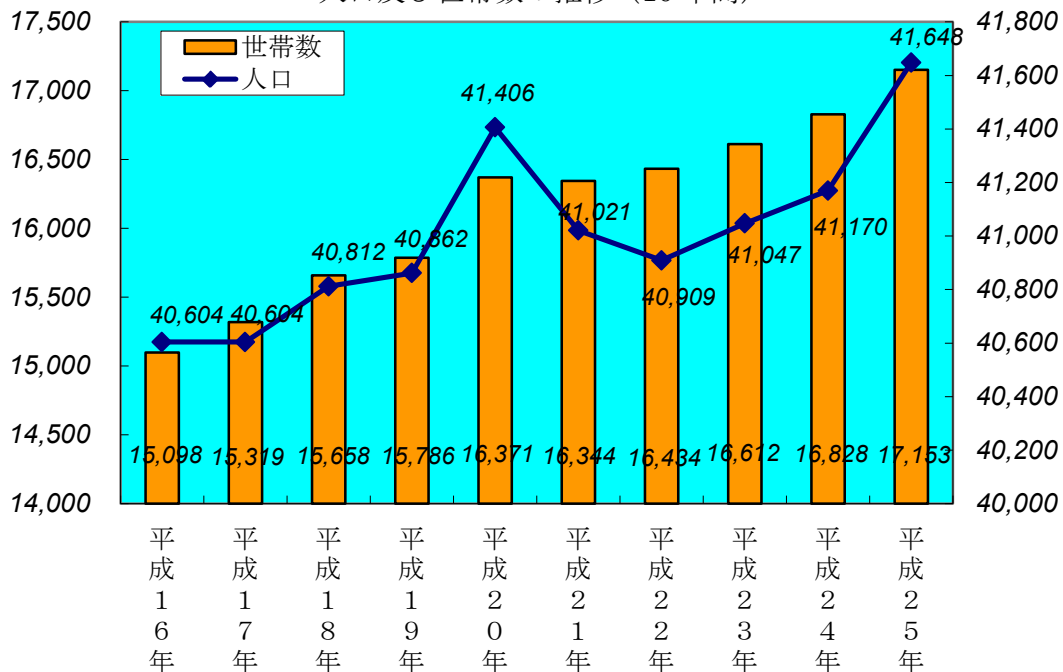
・行政エリア(平成25年4月1日現在)

人口 41,648人
 世帯数 17,153世帯
 面積 18.00km²
 人口密度 2,313人/km²

※平成25年の人口,世帯数は外国人を含む

平成24年中 人口動態調べ	
出生率	352 (4位/15地区)
死亡率	319 (2位/15地区)
自然増人数	33人 (7位/15地区)
転入者数	2,464人 (4位/15地区)
転出者数	2,395人 (4位/15地区)
社会増数	69人 (5位/15地区)
人口増加数	102人 (5位/15地区)

・人口及び世帯数の推移 (10年間)



・統計で見えてくる雀宮の姿

【高齢者】		
65歳以上のひとり暮らしの世帯	863世帯(1位)	2位姿川地区 846世帯
65歳以上のひとり暮らし世帯割合	6.5%(22位)	1位東地区 12.6%
	宇都宮市平均 3.7%	
65歳以上の夫婦世帯	1,470世帯(1位)	2位姿川地区 1,357世帯
65歳未満の単独世帯	2,726世帯(4位)	1位横川地区 4,284世帯
【住宅環境】		
持ち家率	65.9%(10位)	1位篠井地区 97.9%
【家族構成】		
夫婦のみの世帯	2,750世帯(2位)	1位姿川地区 2,897世帯
夫婦と子どもからなる世帯	4,060世帯(3位)	1位姿川地区 4,768世帯

○地区別面積

(単位:平方キロメートル)

宇都宮市:416.84

地区名	平石	清原	横川	瑞穂野	豊郷	国本	富屋	篠井
面積	21.12	42.08	18.55	19.52	24.64	24.25	17.00	26.58
地区名	城山	姿川	雀宮	上河内	河内	宝木	陽南	本庁
面積	39.44	23.84	18.00	56.96	47.72	6.89	3.88	26.37

○町名別人口・世帯数

「2-1」

(各年3月末現在 単位:人又は戸)

町名	人口			世帯数		
	平成24			平成23	平成24	平成23
	男	女	計			
インターパーク3丁目	233	247	480	419	229	202
インターパーク5丁目	7	2	9	12	9	12
上御田町	295	278	573	575	215	218
北若松原1丁目	263	279	542	468	211	180
北若松原2丁目	160	173	333	331	133	130
五代1丁目	676	661	1,337	1,342	513	507
五代2丁目	821	800	1,621	1,639	636	630
五代3丁目	753	715	1,468	1,453	590	571
さつき1丁目	241	236	477	482	192	195
さつき2丁目	358	379	737	747	273	272
さつき3丁目	477	471	948	953	345	346
下反町	158	152	310	311	102	98
下横田町	112	112	224	221	75	73
新富町	183	198	381	382	160	162
末広1丁目	315	301	616	631	260	259
末広2丁目	583	603	1,186	1,172	515	512
雀の宮1丁目	485	483	968	1,003	442	443
雀の宮2丁目	622	549	1,171	1,150	548	555
雀の宮3丁目	132	133	265	266	123	124
雀の宮4丁目	883	947	1,830	1,831	734	730
雀の宮5丁目	485	473	958	950	371	372
雀の宮6丁目	653	640	1,293	1,311	534	536
雀の宮7丁目	685	670	1,355	1,355	545	542
雀宮町	350	346	696	700	294	288
高砂町	372	366	738	757	317	315
東谷町	228	233	461	435	157	142
中島町	166	153	319	329	103	106
羽牛田町	134	123	257	253	85	82
針ヶ谷1丁目	717	693	1,410	1,407	500	497
針ヶ谷町	1,143	1,168	2,311	2,318	900	891
富士見町	945	944	1,889	1,927	841	854
御田長島町	105	110	215	216	57	57
みどり野町	371	396	767	767	325	320
南高砂町	399	406	805	800	327	322
南町	870	889	1,759	1,806	678	689
宮の内1丁目	306	315	621	617	263	258
宮の内2丁目	175	175	350	355	150	148
宮の内3丁目	468	457	925	930	369	369
宮の内4丁目	357	335	692	672	321	316
茂原1丁目	580	123	703	744	586	626
茂原2丁目	270	238	508	512	209	207
茂原3丁目	179	180	359	367	134	135
茂原町	881	910	1,791	1,711	674	640
若松原1丁目	909	900	1,809	1,808	699	690
若松原2丁目	701	736	1,437	1,447	549	551
若松原3丁目	608	574	1,182	1,165	452	440
地区計	20,814	20,272	41,086	41,047	16,745	16,612

3-4 雀宮地区の産業

(1) 農業

雀宮地区は、中央部は市街化区域、東部は田川沿いに広がる水田地帯、西部は梨など樹園地・畑作地帯と3つの地域で構成される。田川流域では、早くから圃場整備が進められ整備率は高い。

耕地面積の84%は田、12%が畑と樹園地で成り立ち、主に東部の「いちご」西部の路地野菜「たまねぎ」、「ほうれん草」、「なし」などが盛んで、伝統作物の「かんぴょう」の生産は市内1位である。

(H22農林業センサス)

項目 地区	戸数 (戸)	人口 (人)	経営耕地面積(ha)			
			田	畑	樹園地	計
雀宮地区	401	1,368	488	69	22	579
宇都宮市	6,141	20,623	9,030	1,056	383	10,469

(2) 商・工業

地区内には、戦前の昭和18年に、機関砲弾を作る関東工業が栄え敗戦とともに廃業となり、同20年、日産自動車工場として再出発したが構造不況に勝てず会社は封鎖された。その後、主だった産業は起こらなかったが、同59年に東谷・中島地区がテクノポリス計画の地区に指定を受け、平成17年に大型商業施設が立地され新たな局面を迎えている。

(平成22年12月31日現在)

商業

項目 地区	事業所(箇所)	従業員数(人)	年間商品販売額 (百万円)
雀宮地区	384	3,452	94,029
宇都宮市全体	5,901	50,129	2,835,926

工業

(平成22年12月31日現在)

項目 地区	事業所(箇所)	従業員数(人)	製造品出荷額 (百万円)
雀宮地区	38	1,580	21,272
宇都宮市全体	582	32,866	1,806,899

3-5 雀宮地区の歴史と文化

(1) 史跡文化財

歴史の里「雀宮地域」は、数多くの文化財が存在し、そこには太古の浪漫と、歴史の静かな歩みを感じ取ることができます。数千年に亘る歴史と風土の流れは、今日の優れた文化と豊かな生活基盤を造り上げてきました。

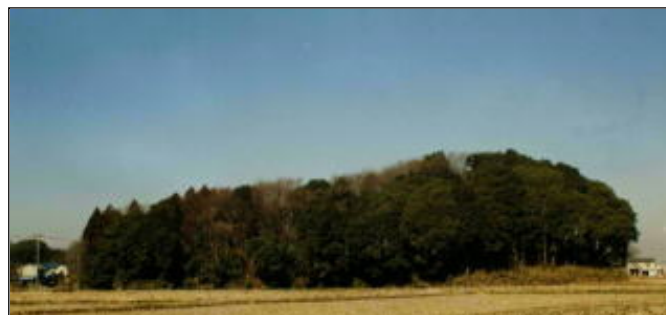
国指定史跡「上神主・茂原官衙(かみこうぬし・もばらかんが)遺跡」は、宇都宮市の茂原町と上三川町にまたがる地域にあり、奈良時代頃の人名を刻んだ瓦が多く出土することから、長い間、古代の寺院跡と考えられていましたが、発掘調査の結果、飛鳥時代の後期の7世紀後半から平安時代前期の9世紀にかけて営まれた古代の役所(官衙)遺跡であることが分かり、平成15年8月27日に国の史跡として指定を受けました。更に遺跡に接して東側に東山道(古代の国道)が通り、古代の要衝であったことが判明しました。このことを受け保存のための基本計画が上三川町と協働し策定され用地買収を現在進めています。

また、笹塚古墳は、5世紀の中ごろに栃木県内で初めて造られた大型の前方後円墳である。全長は約100mで、県内では6番目の大きさであり昭和36年6月30日県の指定を受けました。平成18年11月の調査の結果は、

- ①円部に^{ふきいし}葺石があること(葺石は墳丘の区画をはっきりと立派に見えるようにするために石を葺いたもの)
- ②三段に築かれていること(三段築城という)
- ③後円部の墳頂及び第二段目の平らな面に埴輪が並ぶこと
- ④二重の周溝がめぐることが確認でき、畿内の大和朝廷と結びつきの強い人物の墓であることがわかった。この他、牛塚古墳や愛宕塚古墳など数多く点在しています。

また、江戸時代には奥州街道と日光街道の宿場町として繁栄し本陣、脇本陣、仮本陣が置かれ現在は仮本陣が残されています。

平成23年には、文化財の詳細な位置図と説明文を掲載した「雀宮地域の文化財」マップを雀宮郷土史研究会が発行し、地域の文化財のPRに努めています。



東谷町
笹塚古墳

(2) 主な史跡文化財

分野	史跡文化財	特徴	所管
歴史	<ul style="list-style-type: none"> 雀宮神社 本陣 脇本陣 仮本陣 寺子屋 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の名前の由来 江戸時代を象徴 江戸時代を象徴 江戸時代を象徴 江戸時代を象徴 	
文化	<ul style="list-style-type: none"> 上神主茂原官衙遺跡 古代瓦 笹塚古墳 	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥時代の役所跡 豪族の名が刻まれている 前方後円墳：中期古墳 	<ul style="list-style-type: none"> 国指定史跡 市指定文化財 県指定文化財

(3) 恒例行事

雀宮地区は、古代よりさまざまな文化が花開き今日に至っている。

行事	特徴	所管
初市	その年一番初めの市	雀宮地区商工会
どんど焼き	無病息災を願う	雀宮東小PTA・雀宮上町自治会ほか
雀宮神社：天王祭	牛頭天王の夏祭り	雀宮上町自治会
チュンチュン子どもフェスタ	進学及び進級を祝う	雀宮地区青少年育成会
雀宮地区盆踊り	暑気を払い元気に	雀宮地区自治会連合会主催
針ヶ谷町八幡神社：例祭	神社の最も重要な祭典	針ヶ谷中自治会
針ヶ谷町熊野神社：例祭	神社の最も重要な祭典	針ヶ谷町上坪自治会
健康福祉まつり	支えあう心を育てる	健康・福祉まつり実行委員会
敬老会	長寿を祝う	市・連合会・社会福祉協議会
フラワーまつり	花を愛で交流をはかる	「田川フラワーロード」雀宮河川愛護会
雀宮神社ほか：例祭	神社の最も重要な祭典	雀宮上町自治会ほか
雀宮地域文化祭・収穫祭	文化の発展向上とみのりに感謝	文化祭・収穫祭実行委員会
雀宮ちゅんちゅんウォーク	健康増進と体力向上を図り親睦と交流を深める	雀宮地区自治会連合会
暮市	その年一番最後の市	雀宮地区商工会

(4) 地区内の囃子保存団体

名 称	所 在 地	来 沿
新清流長島五段囃子保存会	御田長島町	明治初期に全国を放浪していた鶴見清一郎という人から伝授されたと伝えられる
東谷お囃子会	東谷町	御田長島町と同様、新清流を称する囃子で、明治初期から盛んになった
中島町お囃子保存会	中島町	江戸時代中ごろから始まったが、昭和初期に真分佐治・加藤作太郎両氏によって生み出され「佐作流」を称する
茂原町お囃子会	茂原町	戦前からあった「やぐるま」は一時休止となってしまっていたが、最近になり復活をした

① 雀宮音頭

あゝあゝの
八十八夜の
田んぼの水
チヨット気
老いも若さ
俵債むまで
よいよ田川
の水上げよ
(繰返す)

②

あゝあゝの
夏の夕顔は
無垢な乙女
あの夢のよう
雀名産干瓢に
注文どっさり
よいよ雀の宮
(間奏あり)
の里
(繰返す)

③

あゝあゝの
黄金の波に
雀のスズメが
おおはしゃぎ
ことしや豊年
超過ぎようし
よいよ下野米
あゝあゝの
冬の夜長の
家族揃って
にに顔で
税金完納
娘かたづけ
よいよかた
のむつまじ
(繰返す)

④

あゝあゝの
冬あゝあゝの
家の夜長の
にに顔で
税金完納
娘かたづけ
よいよかた
のむつまじ
(繰返す)



ちゅん太とちゅん子

3-6 雀宮宿を訪ねて

雀宮宿は宇都宮市南部の入口に位置し、日光街道が開かれた時に新しく作られた宿場だといわれています。

慶安元年（1648）の記録によりますと、本陣と脇本陣が各1軒、旅籠38軒という小規模な宿場であったとのこと。

なお、この地の茂原は中世にたびたび合戦場となったところで、天授6年（1380）、下野の両雄と言われた宇都宮基綱と小山義政の壮絶な戦いがあり、「茂原の戦い」といわれています。



茂原正観音道標識



雀宮本陣跡標柱



雀宮駅前信号



馬頭観音



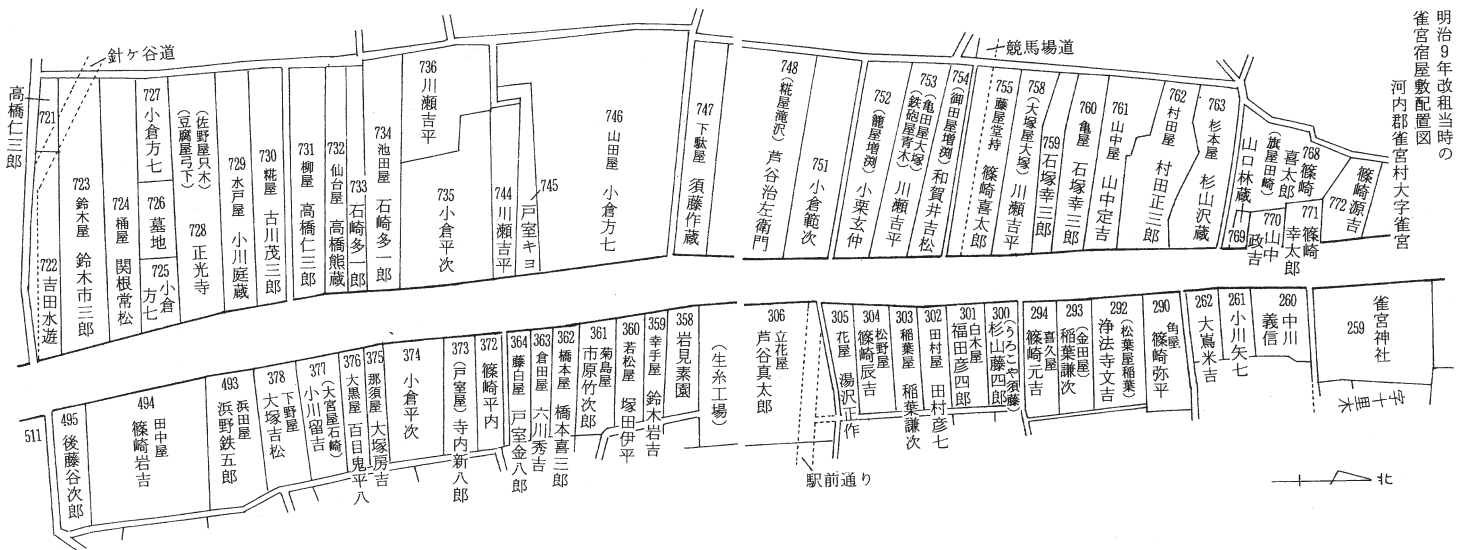
芦谷家仮本陣



雀宮神社



100 kmの道路標識



明治9年当時の雀宮宿屋敷配置図



4 アンケート等の実施と雀宮地区の魅力や課題について

(1) 雀宮地域ビジョンアンケート調査について

- 実施期間 平成25年1月1日～平成25年2月1日
- 実施対象者 平成25年1月1日現在の自治会加入全世帯 9,488世帯
回収数 6,157世帯 回収率 64.89%

■配布・回収方法

- ・自治会を通して、各戸配布
- ・回収方法も自治会を通して回収

■アンケート結果及び内容

別冊「雀宮地域ビジョンアンケート集計結果報告」のとおり

(2) 雀宮地域学について

- 実施日時 平成25年3月14日(木)及び3月21日(木)
- 対象者 まちづくり推進協議会、地域ビジョン策定委員の皆さん
- 内 容

この雀宮地域学は、「地域を知る（地域カルテ）」、「地域課題点の把握・対策（ワークショップ等）」、「新たな発見（気づき）」をとおして、地域活力向上を図るきっかけのひとつとして開催したものです。

この雀宮地域学では、講義のほか、地域カルテ、地域の弱み強みなどを学ぶワークショップ等を実施。参加した皆さんはメモをとりながら意見交換したほか、参加者からも地域の歴史や雀宮地域学について活発な意見が述べられました。

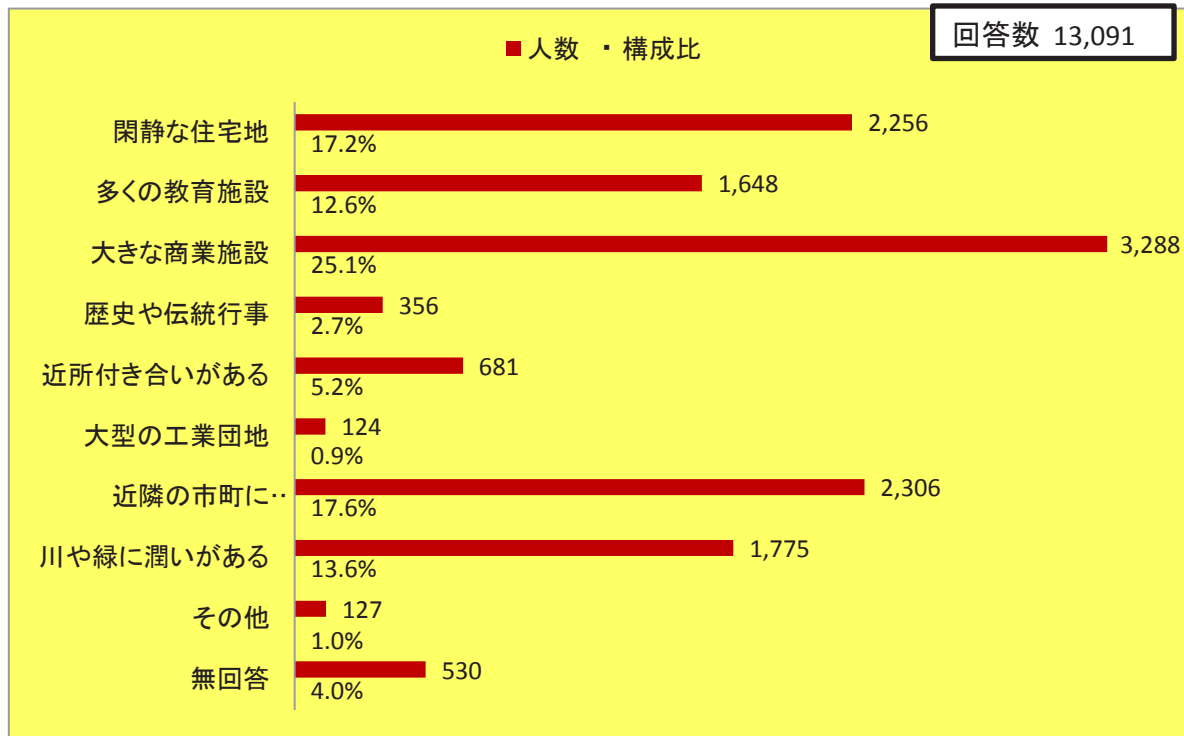


(3) アンケートに見えてくる雀宮地区の魅力や課題について

平成25年に実施いたしましたアンケート調査のうち、特に地域の皆さんが考えた雀宮の魅力やまちの課題について抜粋してご紹介します。

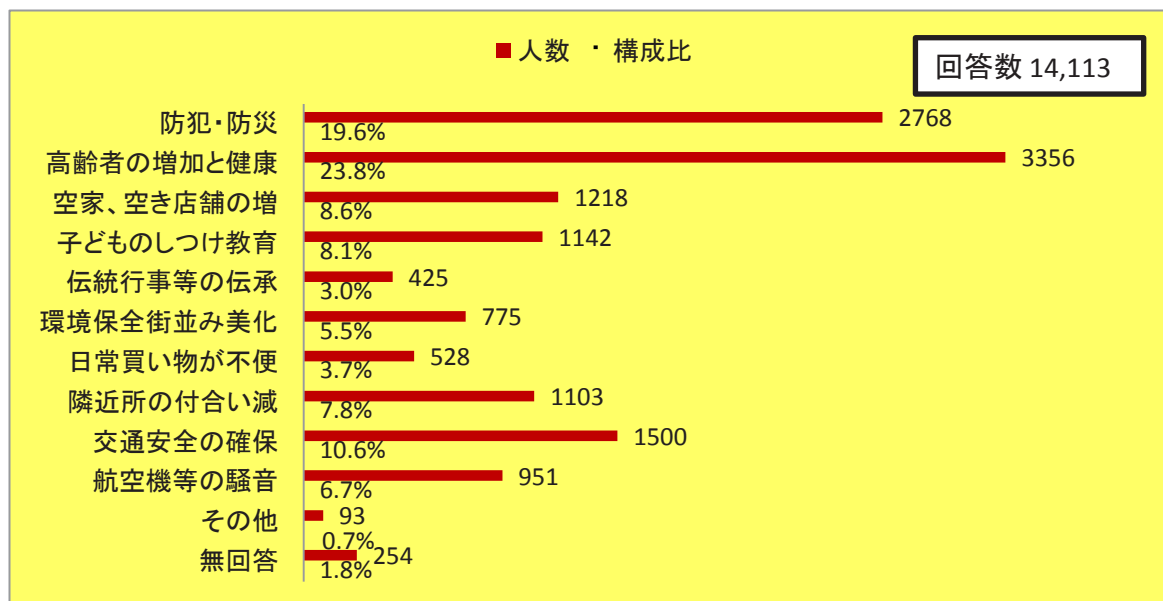
《自身が感じる雀宮地区の魅力は何ですか。》(3つまで)

自身が感じる雀宮地区の魅力として、「大きな商業施設が近くにあり買い物に便利」が25.1%と最も高く、「近隣の市町に大きな大学附属病院が2つある」17.6%、「閑静な住宅地」17.2%、「身近に川や緑があり潤いを感じられる」13.6%「多くの教育施設がある」12.6%と高い結果になっており、日常の買い物、医療施設、自然環境や教育環境への満足度が雀宮地区の魅力になっているとの結果となっています。



《地域の課題と思うことや自身が不安だと思っていることは何ですか。》(3つまで)

地域の課題と思うことや自身が不安に思っていることとして、「高齢者の増加と健康」に関することが23.8%を占め、「防犯・防災」19.6%、「交通安全の確保」10.6%と続き、高齢者や健康に関すること、そして、安全・安心に関して、課題と思い自身が不安だと思っている割合が高い結果になっています。



(4) 雀宮：すごく自慢できるところと気になるところ

地域学講座ワークショップより(25. 3. 21)

A自治(市民活動、コミュニティ、防災・防犯)について	
自慢	人的資源が豊富でイベント等で協力が得やすい。(消防団OB、自衛隊OBが協力的)□自治会がしっかりしている。
	諸活動(イベント)等も多く、危うい時も多いがお互い協力し合い、最後にはまとまる。
	雀宮音頭を地域の力で復活させる団結力。
	女性が元気だ。女性がキレイだ。
	まちづくり組織がしっかりしているため活動が早い。
	行事があると皆が協力して行うので、他の地区から比べるととても活発だと思います。
気掛り	となり近所の交流が少なくなった。(向こう3軒両隣)
	次代を担う若者の不足。
	空家が多くなった。空家が目立つ。(S40~50年に開発されたところ。)
	自治会活動にバラツキがある。 各種団体に女性の進出が少ない。
B学校・生涯学習(生涯学習・教育、スポーツ、イベント、文化)について	
自慢	南図書館と宇工高、立派な文教施設がある。
	教育機関が多い。(小5、中2、高2)
	ところどころに宿場町の面影がある。①雀宮宿があった。②本陣や仮本陣があった。
	歴史の里である。(古墳、文化財がたくさんある。)雀宮神社、芦谷家、笹塚古墳 下神主茂原官衙遺跡
	自然が多く手軽にウォーキング可能 宇都宮工業高校が移転して、若い世代の人たちが通学することで活気が生まれた。
気掛り	雀宮地区からの情報発信力が少ない
	子供が少なくなったことで催しものへの元気がなくなってきた。
	雀宮の歴史が知られていない。 行事について形式にこだわりすぎ。目的・誰のためが生かされていない。
C交通、生活(交通安全、交通関係、健康・福祉、生活環境)について	
自慢	大型商業施設(インターパーク等)があり便利、スーパーがたくさんある。(安塚街道) 文協施設、病院もあり暮らしやすい。機関病院が近くにある。
	おいしいもの(おせんべい、キムチ、まんじゅう、パン)を売っている商店がある。
	生活に必要な施設が整っておりコンパクトシティ
	駅周辺がきれいになった。(駅舎の完成、南図書館、宇工高)
	ベットタウン、農村周囲の自然とバランスのとれていること。
	JRが通っていて、交通の便がよく東京への通勤も可能。
	医療・福祉産業が81もある。
気掛り	雀宮地区内をつなぐ交通ネットワークがない。東西のバスの便が不便。
	国道4号線に地域が分断されている。路地裏の道路が狭い。
	車社会、譲り合い、思いやりの心が必要。自転車のマナーが悪い。
	電車の音、ヘリコプターの音が気になる。
	一人暮らしの高齢者が買い物弱者になる。 社会保険病院で出産ができなくなり困る。
D産業、農業(産業、農商工連携)について	
自慢	商業地域と田園地帯が隣り合っている。(バランスが良い。)
	野菜の直売所が多い(新鮮な食材)
	イチゴ、ナシが有名である。
	農家の方と入居者の人との壁がなくなり住みやすい。 インターパークがあり、外部からの人の出入りが多い。活気がある。
気掛り	農家の後継、商店自営業の後継の問題が気になる。
	地域内に働く場所が少ない。 商店街のシャッターが閉まっている処が多くなった。

5 まちづくりの基本方針と取組方針

5-1 まちづくりのテーマと基本方針

(1) まちづくりのテーマ

～歴史を感じそして自然を感じて 豊かに安心して暮らせるまち～

雀宮地域の歴史は古く、古墳時代より更に遡ります。多くの方が暮らしていた証となる古墳群や東山道の跡が発見され、今なお発掘調査が続けられています。また江戸時代になると日光東照宮参拝のために日光街道の人々の往来が盛んになり街道沿いだった雀宮神社付近の「雀宮宿」は大いに栄えました。また、田川をはじめとする河川や、宇都宮市内でも有数の集積を誇る農地によってもたらされる、緑豊かな環境に恵まれたまちでもあり、今後、宇都宮市南部地区の発展に大いに寄与するものと期待されています。

全国的な人口減少、少子高齢化が進行する中で、この地域の人口はまだ増えており、特に子どもや子育て世代の人口比率も多く、地域の持つ潜在的な活力は大きなものとなっています。

一方、こうした人口増の背景にある、戦後の社会・地域構造の変化の中で、地域コミュニティが衰退しつつあります。そして、仕事や子育てに忙しい若年世代が地域内に増え、こうした若い世代と既存のコミュニティとのつながりが必ずしも円滑に進まないことなどから、ぬくもりのある地域の人々のつながりが徐々に薄れていくという状況になっています。

このため、私たちは、歴史を感じそして自然を感じて、豊かに安心して暮らせるまちを目指して、こうしたまちの「変化」に伴う様々な課題を解決し、地域の持つ良さを更に発展させるまちづくりに取り組んでいきます。

(2) 基本方針

地域の持つ様々な問題や課題を解決し、まちづくりのテーマである「歴史を感じそして自然を感じて、豊かに安心して暮らせるまち」の実現に向け、以下に示す6つのまちづくりの基本方針を掲げ、地域に住む人たちと行政が協働で取り組んでいきます。

- 方針1 安心して安全に暮らせるまち
- 方針2 人と人のつながりを感じて暮らせるまち
- 方針3 便利に暮らせるまち
- 方針4 身近な歴史・文化や景観を伝えるまち
- 方針5 学ぶことを大切にするまち
- 方針6 農とふれあうまち

5-2 基本方針と取組方針



基本方針1 安心して安全に暮らせるまち

地域の安心・安全を住民自らの手で守る機運の裾野を広げるとともに、暮らしの不安の原因となる問題を明らかにし、解消することにより、安心して安全に暮らせるまちを目指します。

安全で安心して暮らせる社会の実現は、地域の皆さん共通の願いです。また、「安全」は社会における最も基本的な価値であり、「安心」は豊かで潤いのある生活を営むうえの基盤となるものです。

しかし、子ども、女性、高齢者等を対象とした犯罪の発生や、犯罪の国際化、低年齢化などによって、治安に対する地域の皆さんの不安感も増してきています。

また、情報化、高齢化、都市化などに伴う生活様式の変化をはじめとする近年の急激な社会環境の変化により、地域社会における連帯意識や人間関係の希薄化が危惧されてきています。

しかし、この地域には、交通安全や防犯の活動、子ども見守り活動、自主防災活動に代表される活発な地域活動に象徴されるように、地域の安心安全な暮らしを自分たちの手で守ろうという機運の高さは地域内外に誇れるものがあります。地域の安心・安全を自分たちの手で守ろうという思いや活動を地域に住む、特に若い世代により広く深く伝えていくこと、そして様々な不安の原因となっている問題をひとつひとつ丁寧に解決していくことがこれからも必要であると考えます。

【取組方針】

①防犯・防災機能の充実

誰もが安全で安心して暮らせるように、地域ぐるみの防犯活動に取り組むとともに、自主防災体制の充実・強化に取り組みます。また、災害時要援護者支援制度の充実を図るなど、各種地域での活動をもとに地域の絆づくりを推進します。

②地域ぐるみの暮らしの安心・安全を確保

地域ぐるみでの助け合いの社会や安らぎのある快適な暮らしの中で、安心、安全が感じられるまちをつくります。防災対策の取り組み、地域内デマンドタクシーの運行、一人暮らし高齢者食事会、児童の通学や独居高齢者に対する見守り活動など、心をつなぐ安心・安全ネットワークの構築に取り組みます。

③医療福祉施設のネットワークの充実

高齢者、障がい者の地域での見守りや、子育てネットワークづくりに取り組み、すべての人が互いに支え合う社会の構築、地域福祉の向上を考えます。

また、保健・医療・福祉などの専門機関やサービス事業者との連携を図り、地域ケア体制の充実を考えます。

④福祉サポート体制の充実

地域の皆さんの多様な悩みに対応するため、地域の相談・支援窓口、社会福祉協議会、ケアマネージャー、民生委員児童委員、ボランティアなどと情報の共有化を図りながら連携を強めるとともに、援助を必要とする人の発見や見守り援助活動を推進し、地域と行政、専門機関などの協働による支え合いの地域福祉ネットワークの整備を進めます。

交通弱者の買物代行、宅配、送迎など、地域の支え合いやコミュニティビジネスを通じ、日常生活における多様なサービスの提供を担う仕組みを構築し、誰もが便利に暮らせるまちづくりを目指します。





基本方針2 人と人のつながりを感じて暮らせるまち

地域の新しい力をまちづくりに活かし、地域活動が更に活性化することによって、温もりのある地域の絆を広げ、人と人のつながりを感じて暮らせるまちを目指します。

若い世代がこの地域に多く住んでいるということは、地域の活性化の観点から望ましい状態であり、こうした新しい力をまちづくりに活かすことがこの地域の課題であるといえます。

また、ずっと住み続けられるまちとして、暮らしやすい環境を整えるには、道路や施設などを整備することももちろん必要ですが、暮らしていくうえでの安心感や喜びをいかに生み出していくか、地域への親しみをいかに深めていくかということが大きな課題です。

地域の自治会などへの加入はもとより、連合会やまちづくりが取り組んでいる「チュンチュン子どもフェスタ」や「雀宮地域文化祭・収穫祭」のように、子どもたちや若い世代がまちづくりに関心を持ち、気軽に関わっていける多様な参加の機会を工夫することが必要です。加えて、既に取り組まれている様々な地域活動を活性化させるとともに、次の担い手にスムーズにバトンが渡り、継続されていく状況を生み出すことが必要です。

【取組方針】

①地域交流・まちづくり活動参加の機会づくり

地域の小中学校等と連携し、地域学習、交流イベント、清掃活動など、子どもたちや若い世代が気軽に参加できるように、住民交流の機会を増やすことを目指します。



②健康で快適に暮らせるまち

誰もが健康でいきいきと暮らせるよう、健康づくりの機会を提供するとともに、各世代や世代間、地域内での交流が図れるようにいろいろな場づくりや取り組みを目指します。(地域スポーツクラブの推進など)

③地域コミュニケーションの更なる活性化

地域住民のふれあいや世代間交流を深め、住民相互の交流を担う生活基盤としての機能の充実を図り、みんなで支え合う地域コミュニティの活発なまちづくりを目指します。



基本方針3 便利に暮らせるまち

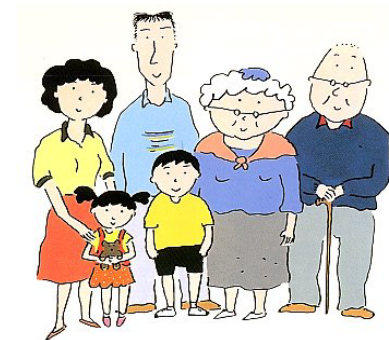
自家用車を自ら運転することが少ない特に高齢者、障がい者、そして子ども達等にとっては、日々の買い物や通院、通学など暮らしが不便な地域が存在しています。環境整備の充実など高齢者等も不便を感じることなく日々の暮らしを楽しめるよう移動しやすいまちを目指します。

高齢化の更なる進展が予想されるとともに、団塊世代が本格的に高齢化を迎えるなど高齢者自身のライフスタイルが様変わりしていく中、単身世帯の高齢者等が住みなれた地域でいつまでも安心・安全に暮らせるよう、地域社会全体で高齢者を見守り、支援する仕組みづくりや自動車への過度の依存を改め、誰もが利用できる公共的な交通手段を構築していくことが重要な課題であると考えます。

【取組方針】

①車、自転車、歩行者の道づくり

高齢者の移動手段となるシニアカーや車椅子の利用者にも配慮し、ユニバーサルデザインの視点を踏まえ、多様な利用者の意見も反映し、全ての歩行者にとって安全で楽しく歩ける道路整備を支援して参ります。



また、歩行者や自転車走行環境に配慮した道路整備、公共交通不便地の解消につながる道路整備など、様々な交通手段に対応する道づくりに関する情報提供や周知・PRに努めます。

②交通ルール、マナー教育の導入

少子高齢化社会の進展を勘案し、警察署や関係機関との連携を図りながら、交通弱者を中心とする交通安全意識の啓発を一層推進するとともに、危険箇所の把握と危険箇所マップの作成と周知のほか交通安全施設の点検、交通安全運動や交通ルールや運転マナー向上等の教育の推進に努めるなど、交通安全対策の総合的な取り組みを支援して参ります。

③公共交通システムの導入

利用者目線に立った公共交通の利便性向上と、日常生活における交通行動スタイルを見直す取組により、過度な自動車利用を控え、公共交通機関の利用を中心とするライフスタイルへの転換を支援し、快適な交通環境を構築し若い世

代から高齢者まで、将来にわたって住み続けたいくなるような魅力ある環境づくりに取り組みます。

平成25年9月14日から運行を開始した地域内交通【おでかけちゅんちゅん号】の効率的かつ安定した運営を進めるとともに、利用者や導入地域の拡大等を検討して参ります。

④地域住民間の支援体制の促進

移動が困難な高齢者や障がい者の買い物などの付き添いや日常の生活支援、食料品等の移動販売や配送サービスの活用など地域住民やボランティア、NPO、企業等が連携した取り組みを推進していくなど、介助が必要な人に対して積極的に手助けする仕組みをつくり地域に広めていくこととします。

⑤商業施設等が充実し、交通の便が良く、買い物に便利なまちづくり

インターパークの大型複合商業施設のほか、スーパーマーケットや家電品店、ホームセンターやディスカウントショップなどが点在し、買い物に便利で娯楽等が充実し、賑わいがある快適に暮らせるまちが望まれています。

商店街にしろ、郊外型のショッピングセンターにしろ、消費者が集まるのは、それに見合う或いは行くだけの価値があるからであり、どこにその商業地が存在するかはあまり大きい問題ではないように思われます。その時、車や公共交通機関で便利に行ければ更によいとは思いますが、それ以上に商品の魅力（価格、品揃え、品質）やサービスのレベルがどれだけ評価されるかが大切なことであると言われてしています。

大型店の進出以前は、商店街がまさに生活商品の提供の場であったとともに、地域住民の交流の場、情報発信の場となっていました。今日の消費者は、車や交通機関の発達によりその行動範囲が拡大するとともに、価値観が高度化・多様化し、商品やサービスを自らの視点で選択するなど、成熟度が増しているといえます。

しかし、消費者は全て大型店で買物をするわけではないため、高齢化社会や地域活動の中で商店街が再度見直される時期が到来しています。これからの商店街は、魅力ある商品の提供・販売を行うのはもちろんのこと、新たな住民サービスやまちづくりなど多方面でのきめ細かい地域への役割を担うことで、消費者の支持・評価が得られるものと思われることから、これらの積極的事業に協力して参ります。





基本方針4 身近な歴史・文化や景観を伝えるまち

まちの歴史、暮らしの文化について認識を深め、次の世代に残していくべきまちの景観について考え、創造しうる、身近な歴史・文化や景観を伝えるまちを目指します

この地域には、古い歴史の記録と長い間、農が生活の中心であったことから生まれた、田園風景、田川や古墳の美しい眺め、身近な生活環境に溶け込んだ数多くの文化財や寺社などがあります。また一方で、地域の念願であった雀宮駅周辺の整備や幹線道路、そして御田や茂原の美田や駅西地区には計画的に整備された住宅団地など、このまちの都市化の歴史を物語る風景があります。そしてこれらの風景が折り重なったまちの景観は、今も現在進行形で変容を続けています。

現在、このまちにはどのような人々の営みの記憶が刻まれているのかを多くの方がしっかりと認識し、何を残していくのか、そして何を新たに創造していくのかを考え、実践に移していくことが必要です。

【取組方針】

①地域の歴史、文化を大切に守り伝える

「雀宮神社」「仮本陣芦谷家」「古墳群」などの歴史的な文化資源を活かしたまちづくりを推進します。また、地域住民のニーズにあった活動やいろいろな機会を通して、文化芸術活動など心を豊かにする取組を行い、地域に対する住民のより一層の誇りや愛着を高めることを目指します。



②住民参加型のイベントによる情報発信

地域に受け継がれる特徴ある伝統行事を継承するとともに、伝統行事を通じた地域内交流や地域外への情報発信など、その存続と発展に向けた取組を進め、地域の活性化につなげます。また、地域団体等と協議し、地域における優れた文化・知識の発掘やネットワークづくりを進めます。

③自然と環境を大切にすまち

里山、河川などの豊かな自然環境保護や、田川をはじめとする地域内の河川や水路の自然資産としての価値などについて、地域の子どもたちをはじめ幅広い世代に伝え、共有することを目指します。



基本方針5 学ぶことを大切にするまち

小中高等学校などの学校教育の充実とともに、生涯学習や専門的人材育成、歴史文化の保全などに取り組み、この地域の特性を生かした人材育成に取り組んでいきます。雀宮学園都市を目指し、誰もが学ぶことを大切するまちを目指します。

地域内に学生、高齢者、子どもたちが集い、交流し、地域とつながる新しいかたちの多世代交流のまちを創出したいと考えます。そこでは、子どもたちから高齢者までが世代を超えて集い、交流することができるさまざまな目的施設が複合的に機能し、多くの地域住民がこの施設に集うことにより、地域内のコミュニティが創出できるものと考えます。

【取組方針】

①子どもから高齢者まで集い学べる

誰もが生き生きと暮らし続けられるよう、高齢者や子どもたちが集える場所づくりや高齢者等への日常生活支援など地域で取り組む各種活動を支援します。

また、情報ステーションとして市民活動・ボランティア、子育て、青年活動及び青少年健全育成などに関する情報発信を行い、ネットワーク事業を進めます。出会い、ふれあい、学びあい、つながる中でにぎわいを創出し、雀宮から元気を発信していくこととします。

更に、スポーツ、文化、芸術活動など余暇の充実やボランティア活動で自分らしい生きがいを見つけ、健やかに暮らせる地域社会をつくり、生きがい・健康が感じられるまちづくりを目指します。

②各学校との協力による教育の推進

小学校等へのボランティアや校外授業に積極的に協力するなど、地域と子どもたちの交流の場、遊びと学びの場の充実に協力します。また、サークル、文化団体等のボランティア活動、地域活動、自主的な文化芸術活動を支援するとともに、住民がいつでも気軽に各種活動に参加し、身近なところで文化芸術等に接することができる機会を拡充します。

なお、小中高、一般も含めたソーラン大会を、人づくり、地域づくり、共生の社会づくり、青少年の健全育成などを目的に開催し、多くの皆さんに、このお祭りに関わっていただくことを提案します。



基本方針6 農とふれあうまち

駅東地区や針ヶ谷の農地は、うるおいある豊かな都市空間を構成し、環境や防災などの機能も担っており、良好な住環境に向けた都市農地の保全に取り組めます。また、市民が農とふれあい、理解を深めることで、農住が共生するまちを目指します。

農業、農地の持つ機能は、農産物供給機能をはじめ、レクリエーション・コミュニティ機能、福祉・保健機能、環境保全機能、教育機能、防災機能、景観形成・歴史文化伝承機能などたくさん大切な機能を有しております。

また、これらの機能をまちづくりに活かすために、四季折々とれたての安全な野菜が食べられること、体験から交流を育む農園が地域のオアシスとなること、農地が防災農地としての役割を果たすことなど、地域の皆さんの農との触れ合い促進方策が考えられます。この方策に沿って、直売所や農業体験の場の整備、農地の防災機能の情報発信などを行うことにより、多面的機能が発揮され、地域の皆さんが農と触れ合うまちを目指します。

【取組方針】

①地産地消の推進

「青空市」をはじめとする地産地消の取組を推進するとともに、地域外にこの地域の農業と農産物を積極的にアピールし、農家が農業を続ける魅力の拡大を目指します。

②交流の場としての農商工の連携

地域内の優良農地では、いちごや梨などの優れた農産物の生産を図るとともに、遊休農地の有効活用により市民農園を拡大し、農商工が連携した取り組みや地産地消のシステムづくり、担い手の育成など、農業経済活性のまちづくりに取り組めます。

③耕作放棄地の有効活用

市民農園等を核として、非農家、地域外の方々にも、この地域の農業と農産物をより身近に感じてもらう機会を増やすとともに、休耕地等の農地としての有効活用を目指します。

また、農地が他の用途に転用される場合も、地域の景観や土地利用の状況との調和を図りながら、地域の活性化と市の発展につながる、この地域にふさわしい土地利用と景観形成の実現を目指します。



6 地域ビジョン達成に向けて

■人口減少、少子高齢化、財政危機、地方分権など地域を取り巻く環境が変化していますが、私たちは、こうした変化に向き合い、地域づくりを進めていかなければなりません。

このビジョンにも示しましたが、雀宮地域にはたくさんの地域資源があり、多くの特性や強みを持っています。

この地域が発展するためには、それぞれの資源や特性を活かしながら、各種団体(自治会、NPO法人、ボランティア団体、有識者)、行政をはじめ地域の皆さんの連携した取組が重要です。

今後は、このビジョンをもとに、雀宮地域の各種団体、行政、地域の皆さんがともに話し合い協力しながら、地域の将来を考え、様々なアイデアを具体化することで、雀宮地域の発展につなげていきたいと考えます。

■ビジョンで提起した事業を推進するために、『雀宮地域ビジョン実行委員会(仮称)』を設立して、各種団体、行政や地域の皆さんとのコミュニケーションを深めながら実施に移していく必要があると考えます。

■ビジョンを達成するためには、地域の皆さん、そして行政がそれぞれの役割を分担するとともに、双方が手を携え、協働で具体的な取組を進めていくことが必要であると考えます。(具体的には、別紙『雀宮地域ビジョン計画スケジュール』を参照願います。)

■ビジョンに基づく計画については、毎年それぞれ簡単な点検、評価を行い、見直す必要がある取組については、改善、廃止などの見直しを行います。

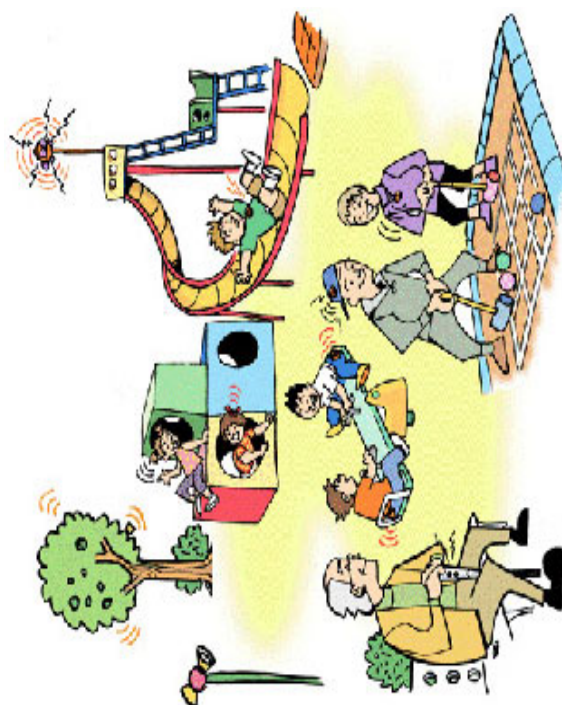
■雀宮地域の皆さん一人ひとりのまちづくりへの参加を促すために、この『雀宮地域ビジョン』の周知に努めます。



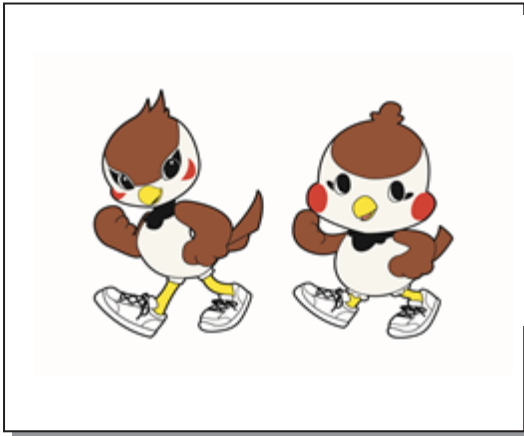
6-1 雀宮地域ビジョン計画スケジュール

基本方針番号	地域のまちづくりの方針	主な事業	実施時期	活動主体
1-①	☆方針1 安心して安全に暮らせるまち ① 防犯・防災機能の充実	①防犯パトロール ②防災意識の向上	すぐに	協働
1-②	② 地域ぐるみの暮らしの安心・安全を確保	①行政・自治会の機能の強化、充実等	すぐに	協働
1-③	③ 医療福祉施設のネットワークの充実	①地域医療との連携	すぐに	協働
1-④	④ 福祉サポート体制の充実	②福祉施設とのタイアップ促進 ①介護予防制度の理解と促進 ②福祉サービスの有効活用の促進 ③住民間の見守り活動、生活支援活動	すぐに	協働
2-①	☆方針2 人と人のつながりを感じて暮らせるまち ① 地域交流・まちづくり活動参加の機会づくり	①地域活動の更なる活性化	順次	協働
2-②	② 健康で快適に暮らせるまち	②あいさつ運動の推進	すぐに	地域
2-③	③ 地域コミュニケーションの更なる活性化	①ふれあい生き生きサロン ②地域スポーツクラブの推進	10年後	協働
3-①	☆方針3 便利に暮らせるまち ① 車、自転車、歩行者の道づくり	①地域活動への参加 ②地域活動の更なる活性化	すぐに	協働
3-②	② 交通ルール、マナー教室の導入	①歩行者が安全で楽しく歩ける道路整備を支援	すぐに	協働
3-③	③ 公共交通システムの導入	②道づくりへの情報提供や周知・PRに努める	すぐに	協働
3-④	④ 地域住民間の支援体制の促進	①交通安全対策の総合的取り組みへの支援	すぐに	協働
3-⑤	⑤ 商業施設等が充実し、交通の便が良く、 買い物に便利なまちづくり	①公共交通利用中心の生活への転換を支援 ②公共交通システムの導入(デマンド方式) ①福祉サポート体制の充実 ①商店街の積極的事業に協力	順次	協働
4-①	☆方針4 身近な歴史・文化や景観を伝えるまち ① 地域の歴史、文化を大切に守り伝える	①地域内外への情報の発信	すぐに	協働
4-②	② 住民参加型のイベントによる情報発信	②歴史的価値を幅広い世代に伝え共有する	すぐに	協働
4-③	③ 自然と環境を大切にするまち	③歴史の発表の場として、文化祭の見直し ①地域の歴史について学ぶ機会の充実 ①自然遺産としての価値を幅広い世代に 伝え共有する	すぐに	地域

基本方針番号	地域のまちづくりの方針	主な事業	実施時期	活動主体
5-①	☆方針5 学ぶことを大切にすまち ① 幼時から高齢者まで集い学べる ② 各学校との協力による教育の推進	①施設や公園等の場所の設置 ①地域の人やシルバード大学卒業生の協力を得て、放課後子ども教室等の指導に当たる ②各学校の活動の発表の場を作る ③小中高、一般も含めたソーラン大会	10年後 すぐに	協働 地域
5-②			☆方針6 農とふれあいまち ① 地産地消の推進 ② 交流の場としての農商工の連携 ③ 耕作放棄地の有効活用	3年後 すぐに
6-①		① 農業体験を通じた地域の特産品の普及促進	すぐに	地域
6-②		② 学校給食への地元農産物の供給	すぐに	地域
6-③		① 商店街などでB級グルメや農産物当の販売 ② ロボット実演など農商工連携イベントを実施 ① 家庭菜園を希望する高齢者等への農地・農機具の貸与等	5年後 5年後 3年後	地域 地域 地域



6-2 みんなで育てよう5つの宝



マスコットキャラクター
ちゅん太とちゅん子

最近、「ゆるキャラ」という言葉をよく聞きます。「ゆるいマスコットキャラクター」の略語で地方のイベントなどでよく使われています。しかしその効果たるや、決してゆるくはありません。ときには大変な経済効果、さらに雇用まで創出してしまふ“すごキャラ”は、地方活性化の大きなヒントになりそうです。マスコットキャラクター『ちゅん太とちゅん子』をよろしくね。



幸せを運ぶ動物まんじゅう(スズメ)
(写真はあわ家惣兵衛のにわとり)

おいしくて、かわいい贈り物。なんでスズメ？なんて考えなくていいんです。

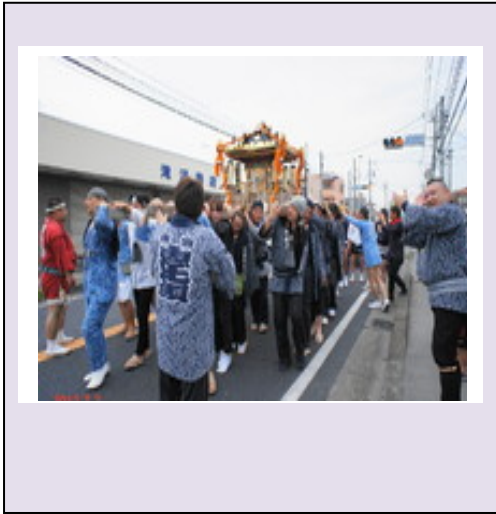
可愛くて親しみのある鳥ですから。贈られた方の笑顔が目浮かぶ心に残るプレゼントにもなりそうです。



雀宮地域でよくつくられているいちごと梨

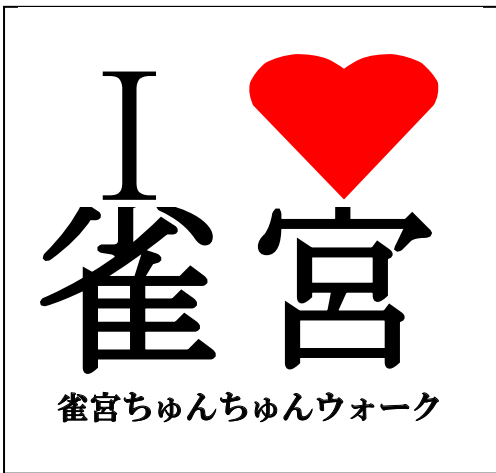
おいしいイチゴ、“とちおとめ”は1粒が15g前後と大きくて日持ちもよく、また酸味が少なく甘み強いのが特徴。現在、東日本のシェアNo.1の品種です。

自慢の梨“にっこり”は、びっくりするほどの大きさと味の良さを兼ね備えた期待の品種です。



雀宮神社の大神輿

歴史の里雀宮にはたくさんのお神輿や山車・お囃子があります。また、子どもたちのソーランやマーチング、婦人会の皆さんによる雀宮音頭などもイベントでよく披露されています。駅前通りで新しいイベントを行い、地域の皆さんのパレードや出し物が披露されると、家族で楽しめる大変賑やかなイベントになりますね。



チャリティシール「I♥雀宮」

「地域の皆さんを始め県内外の皆さんが雀宮に関心を持つきっかけに」、そして「誰もが好きになれる私たちのまち雀宮」と考え、PR用シール「I♥雀宮」(アイラブ雀宮)を製作しました。車に貼ったり、バッグに貼ったりできるので、宣伝場所も幅広く、大きな効果が表れるものと期待しています。このシールの売上の一部は震災募金しています。



■ 資料1 地域ビジョン策定委員会委員名簿 (敬称略)

役職名	氏名	所属団体名	班
委員長	○ 宇賀神源泉	雀宮地区まちづくり推進協議会会長 雀宮地区自治会連合会会長 雀宮地区防災会会長	A
委員	○ ☆ 松田一郎	雀宮地区まちづくり推進協議会副会長 雀宮地区自治会連合会専任副会長	D
委員	○ 千葉紘一	雀宮地区まちづくり推進協議会副会長 雀宮地区地域内交通検討部会会長	C
委員	藤井夏江	雀宮地区まちづくり推進協議会副会長	B
委員	篠原竹雄	前雀宮地区交通安全協会会長	C
委員	小島英男	前雀宮地区防犯協会会長	A
委員	鹿熊忠治	雀宮地区社会福祉協議会会長(H25年度)	C
委員	矢田部順	雀宮地区社会福祉協議会会長(H24年度)	C
委員	川城郁夫	前雀宮地区体育協会会長	B
委員	五月女勘佑	前雀宮地区青少年育成会会長	B
委員	篠崎和一	雀宮地区むらづくり推進協議会会長	D
委員	☆ 大勝規雄	雀宮地区PTA連絡協議会代表(B班班長)	B
委員	穂苺邦彦	雀宮地区民生委員児童委員協議会会長	C
委員	松浦一行	雀宮郷土史研究会会長	B
委員	荒井美江	雀宮地域婦人会会長	A
委員	橋本栄子	雀宮地域婦人会会長(H24年度)	A
委員	尾嶋弘行	宇都宮市消防団雀宮分団分団長	A
委員	松本カネ子	ボランティア代表	B
委員	佐久間昌平	地元企業代表	D
委員	斎藤英時	地元商店街代表	D
委員	三宅徹治	NPO法人うつのみや環境行動フォーラム理事長	C
委員	☆ 遠藤広	公募委員(D班班長)	D
委員	☆ 亀田光三	公募委員(A班班長)	A
委員	☆ 高尾憲弘	公募委員(C班班長)	C
委員	○ ☆ 稲葉豊	雀宮地区まちづくり推進協議会事業部会長	A
委員	○	雀宮地区市民センター まちづくり支援Gの皆さん	A D

○印は勉強会メンバー

A班 7人 C班 6人

B班 6人 D班 6人

☆印は計画策定部会メンバー

■ 資料2 ビジョン策定の経過

会議	日時	議題等
雀宮地域ビジョン策定委員会	第1回	平成24年7月30日 ビジョン策定に向けた取り組みとこれからのスケジュール
	第2回	平成24年10月2日 雀宮地区のコミュニティカルテ
	第3回	平成24年11月29日 地域ビジョン策定に関するアンケート調査の実施
	第4回	平成25年2月27日 アンケート調査の進捗状況等
	第5回	平成25年5月23日 アンケート調査の集計結果等
	第6回	平成25年6月27日 地域の現状と課題
	第7回	平成25年7月23日 地域ビジョンのまとめ(その1)
	第8回	平成25年9月10日 地域ビジョンのまとめ(その2)
	第9回	平成25年10月31日 地域ビジョンのまとめ(その3)
	第10回	平成25年12月24日 地域ビジョンのまとめ(その4)
雀宮地域ビジョン策定委員会 計画策定部会	第1回	平成25年6月25日 地域の将来像とあるべき姿にするための課題
	第2回	平成26年1月30日 地域ビジョンのまとめとアンケートの整理
雀宮地域学	第1回	平成25年3月14日 雀宮地域カルテ I
	第2回	平成25年3月21日 雀宮地域カルテ II
雀宮地域ビジョン策定勉強会	第1回	平成24年2月9日 地域ビジョン策定に向けた取り組みとこれからのスケジュール案
	第2回	平成24年3月9日 雀宮地域ビジョンの策定方法





雀宮地区シンボルマーク

雀宮地域ビジョン

平成26年2月25日

作成：雀宮地域ビジョン策定委員会

〒321-0133 宇都宮市新富町9番4号
雀宮地区市民センター内

電話 028-654-1013

FAX 028-653-5646

雀宮地域ホームページ

<http://www.suzumenomiya.com/>

Eメール：雀宮地区まちづくり推進協議会

suzume22@ucatv.ne.jp

：雀宮地区市民センター

u2225@city.utsunomiya.tochigi.jp